

ESG視点	重点課題	2023年実績	実施内容	2024年目標
E (環境)	脱炭素社会の実現 サプライチェーン・マネジメント	<エネルギー消費量の削減> 連結 236,547GJ 小倉 0.69256MJ/m ³ ・h 山口 0.17637MJ/m ³ ・h	・LED化の推進 ・再生可能エネルギー導入検討 ・熱源機器の有効な運転 ・従業員一人ひとりの行動による省エネ	原単位当たり 1%削減
		<CO2排出量の削減> 連結 排出量 10,478t 小倉 8,258t 山口 2,220t	・LED化の推進 ・再生可能エネルギー導入検討 ・EV車両への切替検討 ・スコープ3の研究	CO2排出量 1.8%削減
		<水使用量の削減> 連結 91,971m ³ 小倉 0.000274311m ³ /m ³ ・h 山口 0.000062505m ³ /m ³ ・h	・従業員女子トイレ改修による節水機器の更新 ・大型空調機の取替 ・従業員一人ひとりの行動による節水	原単位当たり 1%削減
		<廃棄物の削減> 連結 910,440kg 小倉 8.277kg/m ² 山口 7.340kg/m ²	・5R+Renewable (発生抑制・再使用・再資源化・拒否・修理+再生可能) ・食品ロス削減	原単位当たり 1%削減
		<省資源(容器包装削減)の推進> 連結 紙製219,345kg、 プラ11,333kg 小倉 紙製4.097kg/百万円 プラ0.202kg/百万円 山口 紙製3.350kg/百万円 プラ0.250kg/百万円	・紙製手提袋有料化の検討 ・ワンウェイプラスチック使用の合理化等 ・簡易包装の推進	原単位当たり 紙製1%削減 プラ現状維持
	サステナブルライフの推進	サステナブル商材・企画の提案	・エシカル消費、フェアトレード、アップサイクル等の新規商材開発・イベントの実施 ・植樹会の開催	
S (社会)	地域活性化・賑わい創出	館内や公共空間を活用した企画提案	・産学官、ボランティア、市民活動、NPO団体との連携、協働 ・地産地消への取り組み (きたきゅうコロンブスなど連携)	
		地域商材の提案・情報発信		
	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得の促進	・取得の促進と対象者モニタリングの実施 ・有給休暇取得に関する意識の浸透	6日以上 の取得
		育児・介護制度の見直し	・法改正に合わせた育児・介護制度の見直し	
	ダイバーシティ& インクルージョン	<女性管理職の登用促進> 2023年度女性管理職割合 本社30.2% 山口店21.4%	・階層別研修の実施	35.0%
		<障がい者雇用の向上> 2023年雇用率 本社2.73% 山口店2.33%	・法定雇用率の達成	2.5%以上 維持
外国人労働者雇用への対応		・外国人労働者の受け入れ準備を継続		
G (ガバナンス)	ガバナンス体制構築と リスクマネジメント	・ガバナンス体制の構築とリスクマネジメント ・コーポレートガバナンスに関する基本方針及び各原則の遵守		

注) 1. E(環境)の数値については、連結は、使用量・排出量を記載しております。また、本社および山口店においては原単位で記載しております。(本社には山口店以外の関連会社も含まれております)。

2. S(社会)の数値については、会社規程が異なり、連結グループにおける把握が困難なため、主要な株式会社井筒屋(本社)と山口店に分けて掲載しております。